6月定例会

6月定例会は、6月1日から15日までの15日間の日程で開催した。平成24年度武豊町一般会計補正予算をはじめ、条例の一部改正など4議案が上程され、いずれも原案どおり可決した。

議案第31号 平成２４年度武豊町一般会計補正予算 **全会一致可決**

●コミュニティ助成事業 大当たり

（財）自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ助成事業を実施している。

和太鼓『武鼓』太鼓購入費

・大平太鼓…1台 ・長胴太鼓…2台 **250万円**

議案質疑

問 過去、どのような団体が助成金を受けているか。

答 平成22年度にふるさと祭り用のやぐらについて、町が申請した。

問 助成の対象範囲は。また、制度活用のためのPRは。

答 実施主体は、市町村又は市町村が認めるコミュニティ組織となっている。PRは、ホームページに掲載していきたい。

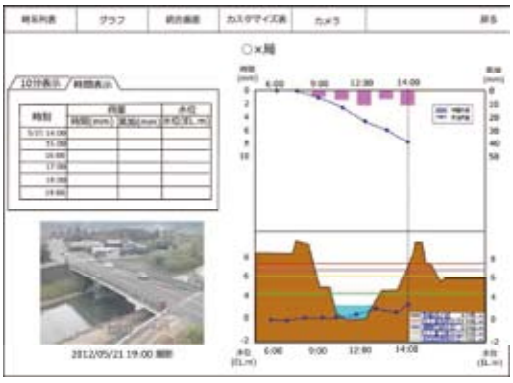
委員会質疑（総務企画委員会）

問 募集で多くの事業申請があった場合、全部申請できるか。

答 市町村2件までの申請となっている。申請件数が多い場合は、申請内容の精査で決定できなければ、「くじ」による方法を取らざるを得ない。

●防災テレメータシステム 通信サービス事業者が提供

武豊町が独自に行ってきた「気象観測機や水位観測機等の整備、運用、保守」、「観測データの収集・演算処理」、「サーバーの運用」等を通信サービス事業者が総合的にサービスとして提供する。



〈イメージ図〉

防災テレメータサービス利用料（4ヶ月分） 156万円
防災テレメータシステム設置負担金 3,500万円

武豊町防災気象情報ホームページ（予定）

- 町内の気象観測情報
- 町内の水位情報（ため池８箇所）
- 監視カメラ画像（河川４箇所）
- 気象警報、注意報
- 地震情報、台風情報、津波情報など

議案質疑

問 防災テレメータシステムの契約内容と試算は。また、事業者を決定する基準は。

答 システムの契約内容は、システム工事にかかる初期手数料およびカスタマイズ費。利用料については、12月以降の４ヶ月分となる。１年間で４６８万円と試算している。事業者の選定は、同様のサービスを提供でき、サービス内容および金額を勘案し決定する。

委員会質疑（総務企画委員会）

問 契約期間は何年で、保守契約も必要ないのか。

答 契約期間は、５年ごとの長期継続契約を考えている。機器などは、通信サービス事業者の所有となるので、保守および更新などはサービス料に含まれる。

議案 第32号 武豊町農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部改正について

全会一致可決

農地面積や農家戸数の減少などを背景として、農業委員会の選挙による委員の定数を15人から13人に削減する。

委員会質疑（産業建設委員会）

問 委員の削減に至る経緯は。また、農業の活性化を目指すなか、委員削減をすることに対する見解は。

答 前回の改選時に、農家の方や複数の生産組合長より「農業委員に立候補できる有資格者が減り、立候補していただける方が少なくなったので委員の定数を減らして欲しい。」旨の意見が出され、今回の改選に向け、農業委員会で6回の議論を重ねた。その結果、「2名の減員」が総意として確認された。

また、農業委員会は、長年農業に従事され、経験・知識とも豊富な方々で構成されると見込まれ、「人・農地プラン」の作成にあたっても、有意義な議論がされるものと考えている。

問 今後中心になっていく若手の意見が反映されるのか。

答 農業委員や生産組合長は、各地域から出ており、その地域に根ざした方々なので、そうした情報も十分集約できるものと考えている。

問 本町の委員の現状と女性委員の登用に対する考えは。

答 遊休農地対策や農地集積への取り組みなどの農業振興業務に、女性の参画は重要であると考えている。

愛知県農業会議から、女性の「選任委員」としての登用のお願いが来ている。本町農業委員会も、その方向で議論が進められている。

意見書第7号
AEDの設置及び維持管理の促進に関する意見書

▼全会一致可決

以下抜粋

AEDの設置及び適正な維持管理の促進を図るため、設置者の経済的負担を軽減する総合的な支援策が求められている。

国においては、早急にAED設置者の経済的負担を軽減する諸施策を講じ、AEDの設置及び適正な維持管理の促進を図るよう強く要望する。

■役場に設置してあるAED

意見書第8号
災害に強い日本の構築に向けた社会資本整備に関する意見書

▼全会一致可決

1. 東海・東南海・南海地震の影響が想定される知多半島と西三河地区5市3町（半田市・碧南市・刈谷市・西尾市・高浜市・東浦町・美浜町・武豊町）護岸の耐震化を早急に図ること。
2. 公共施設やライフラインの維持・管理など計画的な老朽化対策を推進すること。
3. 地盤の液状化による災害を抑制するための技術的ガイドラインを早急に作成するなど宅地被害対策の強化を図ること。
4. 災害時における広域連携の強化や相互応援体制を推進すること。

意見書第9号
若者の雇用対策の更なる充実を求める意見書

▼賛成多数可決

賛成15・反対2

1. 人材を求める地方の中小企業と学生をつなぐための「マッチング事業」を自治体が積極的に取り組めるよう支援すること。
2. 都市と地方の就職活動費用の格差是正とともに、どこでも情報を収集できるよう就活ナビサイトの整備等を通じて地域雇用の情報格差を解消すること。

意見書第10号
TPP交渉参加に反対する意見書

▼賛成多数可決

賛成13・反対2・棄権2

以下抜粋

関税撤廃の例外を認めない完全自由貿易を目指すTPPは、我が国の農業、農村に対する影響は大きく、食料自給率は大幅に低下し、農業経営は立ち行かず、関連産業も衰退し多くの雇用が失われ、農村の疲弊、荒廃化につながるものである。

国民の命や暮らし、農業や食料、地域経済の崩壊につながり、国の主権までなくしかねないTPPへの交渉参加は行わないことを強く求める。

■みどり輝く田

意見書第11号
愛知県民の安全を守るため、大飯原発3・4号機の再稼働を認めず、原発からの撤退へのあらゆる努力を求める意見書

▼賛成少数否決

賛成3・反対12・棄権2

審議されたその他の議案

●報告第2号
平成23年度武豊町一般会計継続費繰越計算書について

●報告第3号
平成23年度武豊町一般会計繰越明許費繰越計算書について

●報告第4号
専決処分の報告について
「損害賠償の額の決定及び和解の専決処分について」

●承認第2号
専決処分の承認を求めることについて
「平成24年度武豊町一般会計補正予算（第1号）」
▼全会一致可決

●承認第3号
専決処分の承認を求めることについて
「武豊町税条例の一部を改正する条例」
▼全会一致可決

●承認第4号
専決処分の承認を求めることについて
「武豊町都市計画税条例の一部を改正する条例」
▼全会一致可決

●承認第5号
専決処分の承認を求めることについて
「武豊町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」
▼全会一致可決

●議案第33号
知多南部広域環境組合規約の変更について
▼全会一致可決

●議案第34号
工事請負契約の締結について
「道路改良工事」
▼全会一致可決

3常任委員会 現場を確認

防災テレメータの設置現場を視察
■総務企画委員会

6月議会では、河川の水位観測カメラの画像情報や衣浦港の状況を把握するライブカメラによる画像情報、通信ネットワークの活用により、雨量・風速・気温などの気象情報をリアルタイムに得られる新システム導入に向けた、補正予算の提案がされた。総務企画委員会では、会議室での審議の後、町内4河川（石川、浅水川、堀川、新川）の監視現況を視察（写真左上）した。

この視察には、防災担当部局も同行し、それぞれ、現在の観測状況の問題点や新システムに変更した場合の観測方法などについての説明を受けた。

富貴小学校の体育館と「わくわく」を視察
■文教厚生委員会

文教厚生委員会は、6月8日、委員会に付託された2議案について審議した後、建設中の富貴小学校の体育館と4月に開所した南部子育て支援センター「わくわく」の視察を行った。

富貴小学校の体育館では、「工事は順調に進んでおり、予定どおり10月末には完成できる見通し」（写真右下）との説明を受け、鉄骨が組まれ、全体の形ができつつある体育館を視察した。

「わくわく」では、子育て支援センターの利用者が、4月からの2ヶ月間で、延べ707組、1，549人の利用があった。

また、併設されている児童館、児童クラブの利用状況などの説明を受け、施設内を見学した。

ともに、順調に事業が進められている。

やすらぎの森墓園を視察
■産業建設委員会

産業建設委員会は、6月11日、農業振興マスタープランの策定や農業委員会委員の定数条例の一部改正、道路改良の工事請負契約の3件について審議した。

会議室での審議が終了した後、委員会として「やすらぎの森墓園」を視察した。

今回造成された区画は、2㎡の区画が3百、3㎡の区画が2百1、合計5百1区画。先に整備された区画と合せると全部で1千8区画になる。現在、申し込みを受付中であることなど、墓園の説明を受けながら、区画や沈砂池の状況を確認した。

■やすらぎの森墓園